

第493回 10月26日開催
出席委員(50音順・敬称略)

荒巻 裕	伊藤 芳明
大村 英昭	木下 明美
倉光 弘己	黒田 勇(書面参加)
櫻井 美幸	森 輝彦

テレビ番組「美の京都遺産」

- ・「美の京都遺産・萬福寺」
7月25日(日)6時15分～6時30分放送分
- ・「美の京都遺産・金閣寺」
8月22日(日)6時15分～6時30分放送分

委員の主な意見

- * ハイビジョン番組として古都京都をどう表現し紹介するかが考え抜かれていて、味わい深い作品に仕上がっている。ハイビジョンは何よりも自然、それから文化の美しさ、深さを伝えるのにふさわしいと感じた。
よい文化というのは見る人、鑑賞する人の心の命を輝かせてくれる、そういう点で見ても、いい番組だと思う。
- * 画像はきれいで、現物よりきれい。もう一度行ってみたいという感じがした。
ふだん見えない角度をいろいろ工夫している。金箔に水のきらめきが反射しているところだとか、金閣寺の内側からの外の景色とか。
この番組のシリーズを全部集めたい、そんな気持ちにさせる。
- * ハイビジョンで見る金閣寺は余りに美しく、かえって人間の息吹を感じさせない死の美を感じさせる。萬福寺は風景として映すだけではなくて、制作者が精神世界に踏み込んで伝えようとしていて、感服した。
- * 一番感じたのは音。寺の扉をあける音、木魚の音・・・多分活字では伝えられない部分だと思う。音を効果的に使っていてその間に静寂が入る。電波メディア、映像メディアの非常にいいところが出ている。
インタビューはやや冗長。刈り込んだほうが、この番組としては引き締まる。
- * 大事に丁寧に作られているという印象を受けた。ナレーションが確かというか、量も多過ぎないし、効果的に入っている。心が洗われるような、いい番組だ。
社寺だけではなく京都にはいろいろ可能性があるなので、長く続けてほしい。

- * リポーターがいないのがよかった。大概のこういう番組はリポーターをよく使って「あんた黙ってて」という感じになることが多い。
番組の最後に、訪ねたい人のための情報があったら、より親切かなと思う。
- * MBSは「近畿は美しく」をはじめ関西の美しさを再発見する番組を作らなければならぬという方針を持つ局だと思うが、この番組はそういう方針を具現化したすぐれた番組だ。
今この国で問われていることはたくさんあるが、自然を畏敬する念、宗教観、この2つが欠落していることが、いろいろな混乱を生んでいる大きな要因だと思う。その辺りも意識して番組作りをしていき、長い路線で定着すれば、MBSの看板番組になると私は思う。
- * 京都の「資源」を高品質の映像で捉えなおしていく、この企画はデジタル時代における地域局のビジネスとして重要なことはもちろんだが、それが同時に、関西の「われわれ」意識の再確認と再構成につながっていくことが期待できる。というのも、「吉本・たこ焼き・タイガース」に代表されるメディアにとっての関西資源だけではなく、さまざまに重層的で多様な関西のあり方を関西人自身が時として忘れることがあるからである。

「ネット番組」全般について

11月18日に愛媛県松山市で開かれるJNN系列近畿・中四国合同番組審議会のテーマ「TBS発のネット番組全般」について、毎日放送番組審議会としての意見集約を行った。